

仙北市健康市民のつどい

平成18年度「仙北市健康市民のつどい」が10月29日、仙北市健康管理センターを会場に開催されました。

午前の部では、親子食育教室『骨と歯を丈夫にする食事』が行われ、野菜をたくさん摂れるメニュー“豆腐入り和風ハンバーグ”と“なんでも野菜クリームスープ”づくりに親子でチャレンジ。

また、『子どもの歯の健康教室』も行われ、歯の大切さや虫歯予防の話の聞いたり、歯科医の診察を受け、虫歯の無かった子どもたちが表彰されました。



自分でつくった料理の味は格別



講師の若松さん

午後の部では、西木町出身で、幼稚園の先生としての経験や自身の育児経験をつづったエッセイを出版、自宅で「出会いと生きがい創りの場、陽だまりサロン」を運営している若松亜紀さんを講師に迎え、「私ってどんな親？」と題した健康づくり講演会が行われ、「『私ってどんな親？』チェックテスト」を参加者みんなで実施。テスト結果による10の性格パターンごとにそれぞれの長所、短所を解説しながら、子どもへの対応についてアドバイスされました。

～語って 奏でる 男女共同参画～ 大間ジロー トーク&ライブ

男女共同参画を自分の問題として考えてもらうことを目的に「語って奏でる男女共同参画 大間ジロートーク&ライブ」(主催：大仙・仙北地区ネットワークで参画パワーアップ事業実行委員会)が10月29日、角館広域交流センターを会場に開催されました。

元オフコースのドラマー、大間ジローさんのトークでは、「辛いときこそ、良い言葉“ありがとう”“感謝します”“ついてる”などの言葉を使うことで、自然とまわりが助けてくれる。“ついてない”“無理”“ダメ”など悪い言葉はなるべく使わないことにしている。言葉には魔法のような力がある」と話し、親子や夫婦間でも褒めることが大切。お互いに褒め、認め合い、磨き合う関係が幸せにつながる、と話していました。

続いて、大間さんと田沢湖神代出身の安藤兄弟のユニット「大間組」によるライブが行われ、会場には笛、太鼓、ドラムが響きわたり大いに盛り上がりました。



スタッフもステージに上がり感動のフィナーレ



ふるさを懐かしみながら乾杯！

東京かくのだて会総会

10月28日、東京中野サンプラザを会場に第21回東京かくのだて会総会と懇親会が開催され約130人が参加。新会長に冨木脩平氏が選任されました。市からは石黒市長、佐藤市議会議長をはじめ市関係者やお山囃子「秋桜会」の皆さんが出席しました。

懇親会でお山囃子と手踊りが披露されると、会場は大いに盛り上がりました。また、特別ゲストとして歌手の水田竜子さんが新曲「角館哀歌」を熱唱。会員の皆さんはふるさを思い出しながら懇親を深めていました。